

第1回 湖南省子ども・子育て未来会議（概要）

日時：令和元年7月3日（水）午後2時～

場所：湖南省共同福祉施設（サンライフ甲西）

■出席委員（湖南省子ども・子育て未来会議委員）

池村委員、國重委員、平島委員、平井委員、勝井委員、白鳥委員、佐野委員、中島（扶）委員、田中委員、稲塚委員、中島（秀）委員、奥村委員、野村委員、田畑委員、中村委員、細田委員、藪内委員

■会議次第

1. 開 会
2. 委員・事務局紹介
3. 湖南省子ども・子育て未来会議の説明 【資料1】
4. 議 事
 - 1) 会長・副会長の選出
 - 2) 部会の設置について 【資料2】
 - 3) 子ども・子育て支援事業計画について 【資料3】
 - 4) 今後のスケジュールについて 【資料4】
5. 閉 会

■主な審議内容

議事1 奥村委員を会長、野村委員を副会長とする。

議事2 計画策定検討部会を設置し、子ども・子育て未来会議委員より部会委員（8名）を選出する。

議事3 子ども・子育て支援事業計画について 次期計画の体系骨子（案）の説明。

主な質問や意見

質問①：「子ども家庭総合支援拠点事業」というのは具体的にはどのような事業か。

回答①：児童虐待の対策の関係で地域拠点を2022年度までに設置することとなっている。内容としては現在、家庭児童相談室で行っている内容を充実させていく。子ども家庭支援全般に関わる実情の把握や、要支援児童や要保護児童への支援業務が主な内容。

意見②：「障害のある子供への支援」の表記について。湖南省は障がいのあるなしにかかわらず、発達に支援が必要な方たちに対して必要な支援をしていく発達支援システムという仕組みがあるので、障がいのある子どもだけでなく発達の支援が必要な子どもも支援が必要。個々のお子様方に合わせた対応を考えて行くべき。

質問③：「安心感のある妊娠・出産の確保と支援（産後ケア）」とあるが、「安心感のある妊娠」とはどういうものなのか。

回答③：湖南省の実情として、まず湖南省保健センターで妊娠届を受理する。その際、保健士、看護師、母子保健コンシェルジュが面接をし、2週間以内に検討会議をもち、支援プ

ランがあるかどうかを検討。支援にならないプランもあるが、支援が必要であれば保健師・助産師など専門分野スタッフで妊娠期から支援をする。切れ目のない支援が叫ばれる中で、このような体制となった。出産後、新生児訪問で保健師か助産師が訪問し、民生委員の方が3か月までに訪問する。新生児訪問後に検討会議を行い、湖南省の保健センターでは4か月までの間にノープランでよいのか、何らかの支援があるのか検討する。乳児検診などで何か支援が必要な方がおられたら、発達支援室につなげている。

発言④：公立民営化し4つの中学校区に1園ずつ公立の保育園、こども園が残り、そこに地域の子育て支援拠点を設置する。2020年4月以降、保健センターなどから支援の必要な方の情報が入り、必要に応じて専門機関とつながり、支援の輪を充実させていく計画でいる。このこともこの事業計画に記載し安心して子育てができる環境を湖南省で整えたいと考えている。